

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2025-030
投書日	2025/11/18
タイトル	土樋キャンパス 8 号館の空調設備について
投書内容	<p>8 号館の教室内だけではなく、館内全体の温度が高いため講義へ集中することが難しい状況が続いています。8 号館で講義があるたび服装に気をつけ T シャツ一枚で受講するようにしていますが、それでもなお暑さが強いと感じます。</p> <p>先日は水分補給をこまめに行っていたものの、講義後軽い脱水症状が出てしまい、頭痛が翌日まで続きました。</p> <p>私自身、担当の教授に温度について相談していないことは反省していますが、8 号館の温度設定について見直していただけますと助かります。</p>
回答日	2025/12/16
回答	<p>この度は、授業環境に関する率直なご意見をいただきありがとうございます。過度な室温により体調を崩されたとのこと、大変心苦しく深くお詫び申し上げます。</p> <p>ご要望いただきました 8 号館の 841 教室及び 842 教室は階段教室であるため前席と後席の温度が異なります。さらに窓側との温度差もあることからそれらのエリアの温度調整ができるように教室入口側（教壇側）にコントロールパネルを設置しております。外気温の変動や教室内の人数密度によっては、一時的に室温が高くなってしまうケースがございます。</p> <p>しかしながら、今回のように体調に影響が出る状況は看過できるものではございません。</p> <p>ご指摘を受け、以下のとおり対策方法についてご回答いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 基準温度の変更について：授業開始前に適温設定（夏:26~28°C、冬:20~22°C）となっているか空調のコントロールパネルを確認して調整を試みてください。 • 個別対応の強化について：授業担当教員に対し、操作盤で微調整が難しい場合は、速やかに担当部課の事務室へ連絡を入れるよう通達いたします。 • その他：特定の教室で特に暑さ・寒さを感じる場合は、授業担当教員にその旨をお伝えいただくことで、教員によっては、窓の開閉などで対応可能な場合もございます。 <p>構造上、即座に細やかな調整が難しい場面もございますし、一人ひとりの体感温度も異なることもありますので調整が困難な場合がありますが、今回いただいたご意見を真摯に受け止め、可能な限り快適な環境維持に努めます。</p> <p>引き続き、体調にはくれぐれもご留意ください。ご意見ありがとうございます。</p>